

令和4年度 東京都立品川特別支援学校 学校経営計画

令和4年4月1日 校長

1 目指す学校像

本校は、児童・生徒の人権を尊重し、一人一人に応じた教育を推進するとともに、個性を尊重し、豊かな人間性や社会性を育むことにより、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

- 人権を尊重し、一人一人を大切にする学校
- 日々の授業を大切にし、健康で安全に教育活動ができる学校
- 家庭、地域と連携を深め、地域社会から信頼される学校

【校訓】

- すこやかに…気持ちの安定を図りながら、すこやかに、そして、丈夫な体をつくる
- おおらかに…仲間の気持ちや活動を認め、おおらかな気持ちをもちながら、豊かな感性と自分を表現する力を育てる
- たくましく…一人一人が自己肯定感をもって、主体的に活動し、たくましく生きる力を育み、確かな社会性を身に付ける

【学校教育目標】

- 基本的生活習慣を養い、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。
- 豊かな感性と自分を表現する力を育てる。
- 学ぶ意欲や働く意欲・態度をはぐくみ、主体的に生活する力を育てる。
- 自分の仲間を大切にし、ともに活動する力を育てる。

2 中期目標と方策

本校は、今年度、開校12年目を迎えた。開校以来11年間、保護者、地域・関係諸機関の温かい協力を基盤にして、知的障害教育特別支援学校として、教育活動の基礎・基本の整備に取り組んできた。今後の本校のあるべき姿を想定して、中期目標の三つの柱と各重点方策を以下のとおり定める。

(1) 中期目標

○人権を尊重し、新たな個に応じた教育の充実と定着

- ・体罰やいじめ根絶・自殺予防教育の指針に従い、人権を尊重した教育を推進するとともに、一人一人の発達課題等に応じた教育を徹底する。

○児童・生徒の新たな可能性を見いだす専門性の高い教育の充実と定着

- ・障害特性等に応じた授業力の向上に向けた研修の推進と校内組織を整備するとともに、研修の成果を外部へ積極的に発信し、地域を支援するシステムを構築する。

○地域支援・連携・協働の推進、強化

- ・特別支援教育の推進に向けた地域におけるセンター的機能を強化し、特別支援教育の啓発活動に努め、地域と連携・協働した取組を推進することを通し、地域との一体感を醸成する。

(2) 重点方策

中期目標を実現するために、以下の方策を重点として実施する。

『人権を尊重し、新たな個に応じた教育の充実と定着』

- ① 人権教育の徹底と、多様なニーズへの対応した教育を推進する。
- ② 自己選択・自己決定に基づいた教育の充実を図り、主権者教育（基礎・基本）を推進する。
- ③ 医療的ケアの必要な児童・生徒に対する環境整備及び教員研修等の充実を図る。

『児童・生徒の新たな可能性を見いだす専門性の高い教育の充実と定着』

- ① 個々の障害特性や発達段階を考慮し、「新たな個に応じた品川の教育」を推進する。
- ② スポーツ教育（オリンピック・パラリンピック教育を発展させた「学校2020レガシー」等）のさらなる推進、伝統・文化活動を始めとした芸術教育等の充実を図る。
- ③ キャリア教育の視点を生かした教育課程の実施と改善・充実を図る。

『地域支援・連携・協働の推進、強化』

- ① 地域の小・中学校と連携した交流教育、共同学習等の推進・拡大と福祉教育へ協力する。
- ② 学校運営連絡協議会、防災教育推進委員会等の支援・助言を生かし、安心・安全な教育活動を充実させる。
- ③ 地域、関係諸機関と連携・協働した学校安全の推進に取り組み、宿泊防災訓練を始めとした防災教育を実施する。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	アセスメントに基づく個別指導計画の作成及び保護者面接の実施	年2回
②	外部専門員による発達、言語、行動等への指導・支援・助言	年900時間以上
③	学校2020レガシーに伴う、日本の伝統文化、芸術教育（音楽鑑賞会、アートプロジェクト等）の推進。障害者スポーツを通じた地域との交流、連携の促進	アートプロジェクト展に出品10点以上
④	学習指導要領に基づく12年間を見通した年間指導計画の作成のための研究活動の推進	年11回
⑤	品川の研究・研修活動の理解を深めるための、研究・研修だよりの発行	年3回
⑥	タブレット端末を活用した授業事例の紹介の研修	年1回
⑦	Teams内ホルダーへの教材の蓄積と共有化の推進	通年
⑧	現体物の教材・教具の開発・作成、共有化の促進	通年
⑨	授業アドバイザーによる授業改善に向けた指導・助言	若手教員：指導1回以上

(2) 進路指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	キャリア教育における学級指導や授業での役割活動・作業活動、作業学習での活動、働く場所の見学等、就業体験等の実施	小5～中2 年1回
②	中学部3年による職業体験の実施	二学期
③	地域と連携した地域清掃等の継続実施	年2回
④	教員・保護者対象の事業所見学会又は講演会等の実施	年1回
⑤	東京ビルメンテナンス協会と連携した小学部での清掃教室の実施による職業意識の啓発	小学部1回
⑥	進学先を見通した中学部3年保護者へ高等部説明会への参加の促進と教員の上級校説明会の参加	港特支・青島特支・田園調布特支 各1回以上

(3) 生活指導

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	様々な状況を設定した避難訓練を通じた防災教育の推進	年11回以上
②	防災対策の一環として、地域と連携した福祉避難所の設営に関する研修・訓練の実施	8月
③	警察・消防と連携した交通安全教室、セーフティ教室不審者対応訓練による安全指導の実施	年3回以上
④	ヒヤリハットの迅速な報告、事例の全体共有による危機管理意識の向上と改善策の確立	通年
⑤	高等部進学・社会自立に向けた一人通学への取組みの推進	年間20名以上
⑥	体罰やいじめ根絶・自殺予防教育に関する情報収集会議の実施	年30回以上
⑦	スクールバスに関する研修会・懇談会（乗務員・保護者）	年3回

(4) 特別活動、その他

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	学級活動・ホームルーム活動（日常生活の指導）の充実	各学級・通年
②	校内及び家庭への図書貸出数	年 1800 冊以上
③	図書の購入希望調査（年 1 回以上）を行い、新規の図書購入による蔵書の充実	年 100 冊以上
④	読み聞かせ会の実施	年 3 回以上
⑤	生涯学習、障害スポーツにつながる運動・あそび等の推進	各学年

(5) 安心・安全・健康づくり

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	新型コロナウイルス感染症を踏まえた、学校行事及び学習内容の対応（中止・延期等）	通年
②	基礎体力づくり等の継続的な実施（毎日）と成果の発表	体育発表会 5 月・持久走記録会 2 月
③	医療的ケア安全委員会の実施	委員会年 6 回以上
④	食育に関する指導等の実施	随時
⑤	本校の医療的ケアの全校理解を深めるために、実施状況に関してミニ講座等による発表	年 1 回
⑥	外部専門家による研修会による、摂食指導の基本についての学習会	夏季休業中 1 回

(6) 交流・地域連携・センター的機能

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	交流校との交流活動の実施	学校間交流・連合運動会参加等、学期 1 回以上
②	学校間交流や副籍事業等に関する連絡会等の実施	1 回以上
③	特別支援教育コーディネーター等による小学校等への巡回・電話相談等の実施	80 件以上
④	就学前施設（品川児童学園、目黒すすくすくのびのび園、大田わかばの家）等との連携	新入生全員
⑤	品川区特別支援学級（学校スキルアップ研修）への講師派遣	年 3 回以上
⑥	地域の相談機関と協力・連携（子ども家庭支援センター、児童相談所、各区福祉課等）を行い、支援会議を充実させ、児童・生徒の家庭生活・地域生活の充実を図る	年 5 回以上
⑦	家庭等での虐待等防止や安定した生活を図る一環として、情報交換のための校内支援会議等を随時行う	年 20 回以上

(7) 学校運営・組織体制

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等
①	週ごとの指導計画を活用し、自発的に定時退勤日を設定し実施する	週 1 回以上
②	クリーンデスクの徹底/職場環境を改善するために整理・整頓日の設定	週 1 回/学期に 2 日以上
③	ペーパーレス会議の推進（オンライン：各種会議の業務効率化）	企画調整会議他、各会議
④	効率的な予算執行を行い、学習環境の整備を進めるため、センター執行率の向上を図る	70%以上
⑤	個人情報管理の徹底。紛失事故ゼロ	通年
⑥	ライフ・ワーク・バランスの推進（学校閉庁、定時退庁・年休取得促進、ペーパーレス：ICT 活用推進）	全教職員（超過 45h 以下） 年休 15 日、ペーパーレス